

平成24年度

常任理事会（第5回）

議事録

平成25年2月23日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成24年度 山口県介護支援専門員協会 常任理事会(第5回)
議事録

1 日 時

平成24年2月23日(土) 午後3時30分から午後5時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 2階 201号室

3 出席者 7名

橘康彦 木村友和 藤本邦和 松井康博 堀田慎一郎 田村則子 岩神亜紀

事務局 福祉人材研修部 副部長 中屋文男 職員 福本かおる

4 報告事項

- (1) 各部会からの報告について
- (2) 予算執行状況について

5 協議事項

- (1) 次年度計画について
 - ・事業方針、事業内容、各部活動内容
- (2) 次年度予算について
- (3) 事務局機能について
- (4) その他

6 審議の経過

橘副会長 各部の活動状況について報告を求めた。

堀田理事 広報誌の印刷を3月中に予定しているので、各部の活動状況について調査研究部より原稿があれば3月10日までにいただきたい。その他追加の記事等があればご連絡いただく。

橘副会長 日本協会の動向についてはボリュームがあり、中間的な報告なので抜粋して掲載してもらおう。

松井理事 ホームページに掲載している旨を広報誌に記載すれば良いのではないか。

事務局 大手企業に広告掲載依頼をかけたが現在申し込みはないので、今回は2社の広告掲載になる。

藤本事務局長 紙ベースで送っても返事が返ってくる場所は少ないので個別に声かけをしていく必要がある。

松井理事 災害訓練のプレテストを3月11日に新南陽の会場で開催する。公益事業部員が声かけし参加者を集めており、理事も数名協力をいただき30名程度の規模で企画している。やり方、資料、時間配分等を検討し、内容を精査した上で次年度開催できるよう形作りをする。

田村理事 下松市でも救命救急士と、徳中の医療チーム、看護師等が集まり机上訓練の研修があったので松井理事へ連絡したが連絡がつかなか

った。参加することでイメージが湧くのではないか。山口県でも防災地域のチームが出来ているので地域でもいくつかあるのではないか。

松井理事 防災の立場での研修は多いが、ケアマネジャーの立場で行った研修が少ない。行政、他の団体の方に入っていた方がイメージが付きやすいが、今回はケアマネのみで行い感想を聞く。

橋副会長 事業計画のメール配信機能について、アドレスを登録する仕組みはできたのか。

藤本事務局長 登録していたアドレスを移行したが消える現象が起きているので、登録が出来るシステムを探している。入会申込書にアドレスを記載してもらい、いずれは登録できるよう形作る段階である。

堀田理事 まだどのシステムを使うかは決まっていない。アドレス登録作業を地域事務局が行うので負担を減らす方向で検討していく。

岩神理事 県協会のアドレスに名前を入れた空メールを送ってもらいリストを作成するのがよいのではないか。

堀田理事 県のホームページを見ない人が多く、登録の仕方がわからない人が多い。今回の入会申込書にアドレスを記載いただいた方へは強制的にメールが送られるようになる。

松井理事 災害マニュアルについて県協会版のマニュアルを作成としていたが、日本協会のマニュアルのチェックリストを活用し地域版に変更して作成する。

岩神理事 次年度の研修について内容、頻度についてアンケートを行ったが、適切であるとの意見が多かった。最終的に興味があれば参加すること、周知についても現状に問題はなく、できれば郵送、FAXして欲しいとの要望であった。周南地域の声で主任研修をして欲しいとの要望があり、会の方でできないか案が出ている。それを元に次年度は規模を縮小し研修企画を立てている。主任研修等も企画に入れているので広報の仕方を検討する。通所サービス研修はデイサービス協議会と個人的に連絡を取っており共催等での開催を検討している。ALS 難病研修は勇美財団の助成申請を検討していく。

木村副会長 全ての研修を岩神理事が担当されているので、研修部協力員の増員について会長に伝えている。

岩神理事 協力員について基礎研修以外は収支の関係で交通費等を見ることができないのでお願いしていない現状である。次年度より研修部で担当割をしているが、施設研修、接遇研修以外は担当となっている。協力員の旅費、日当を見ていただけると声かけがしやすくなるので、部の声として次年度予算取りをしてよいか。

藤本事務局長 今年度は会員の確定もあるが、会長にも確認し、かかる経費については出す方向で予算取りをしている。理事会で現在の予算を通し、会員の目安がついた時点で軌道修正等していく。

橋副会長 事業計画について確認いただく。

岩 神 理 事 介護支援専門員の評価に向けての調査を生涯研修部がするのか、調査研究部がするのか会長に確認をしている。

堀 田 理 事 広報のメディア出演についてどのようなものを考えているのか。

橘 副 会 長 誰に向けて広報活動をするのかが明確ではない。

松 井 理 事 以前は研究大会の際テレビ局、新聞社に取材を持ちかけていた。

堀 田 理 事 メディア出演等広報活動の一環として考えていく。

岩 神 理 事 法人格の検討について今後どうしていくのか。実行委員等立ち上げて取り組んでいく必要があるのではないか。

藤本事務局長 事業をする上で法人格が必要になるが、会の取組みとしてどの法人格を取るかも決まってない。コンセンサスを作るところで止まっている。

橘 副 会 長 次年度会費を千円上げることで会員が減る場合、安定的に固定費で会員数を維持できる法人格を探すことも含め入れている。次年度の体制を見て26年度に法人格を取る形作りをしていく。

藤本事務局長 次年度予算について説明。

事務局機能については代表者会議で説明。

藤本事務局長 規約改正について賛助会員規定を会則に盛込んでいる。役員の旅費について一般道 50 キロ以上の方について高速利用料金を支給する案について意見を伺う。

橘 副 会 長 一般道 45 キロ以上の方に高速利用料金を支給する形で理事会に諮る。

と き 午後5時00分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成25年2月23日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印